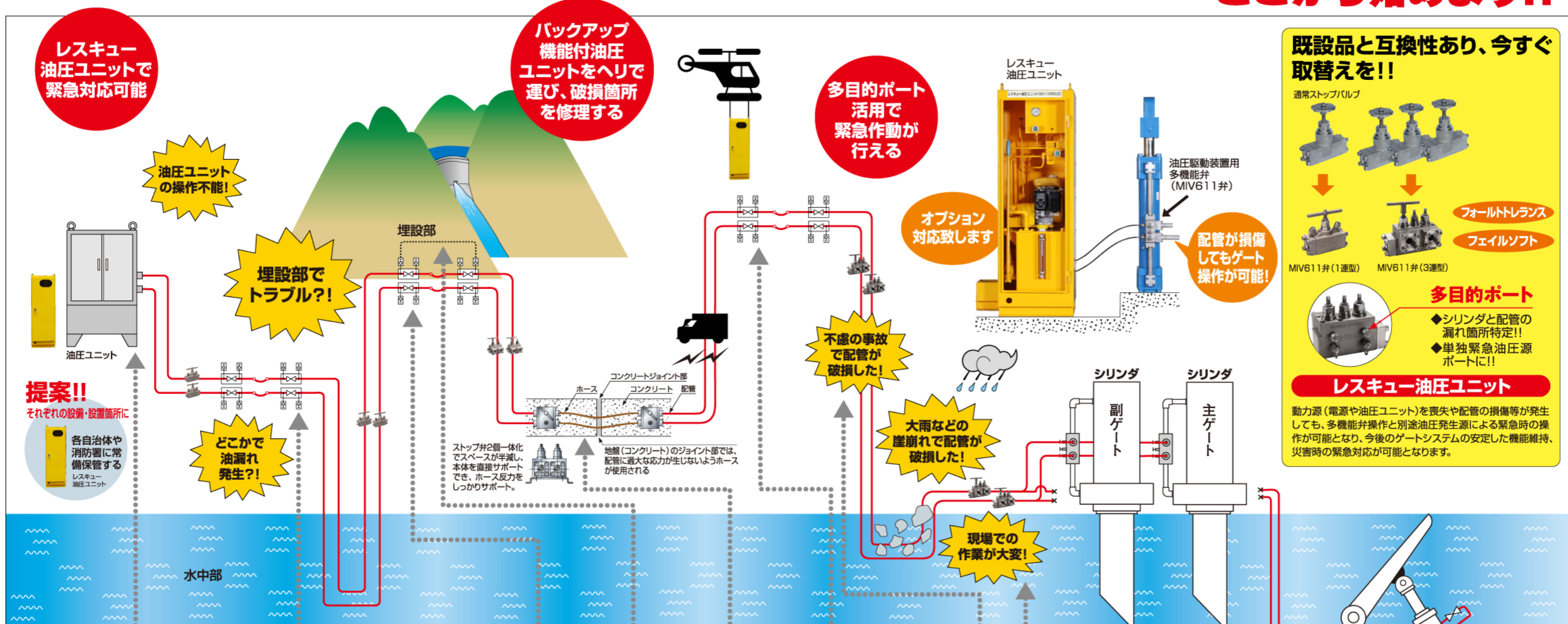


危機管理想定内への取込みとシステム

- ◆フォールトトレランス…故障があっても本来の機能を保持する
- ◆フェイルソフト…機能が低下しても操作不能とならないようにする

危機管理想定内への取込みを
ここから始めよう!!



レスキュー油圧ユニットで緊急対応可能

バックアップ機能付油圧ユニットをヘリで運び、破損箇所を修理する

多目的ポート活用で緊急作動が行える

既設品と互換性あり、今すぐ取替えを!!

通常ストップバルブ

油圧駆動装置用多機能弁 (MIV611弁)

故障トレランス
フェイルソフト

MIV611弁 (1連型) MIV611弁 (3連型)

多目的ポート

- ◆シリンダと配管の漏れ箇所特定!!
- ◆単独緊急油圧源ポートに!!

提案!!
それぞれの設備・設置箇所に
各自治体や消防署に常備保管する
レスキュー油圧ユニット

埋設部でトラブル?!

どこかで油漏れ発生?!

オプション対応致します

配管が損傷してもゲート操作が可能!

不慮の事故で配管が破損した!

大雨などの崖崩れで配管が破損した!

現場での作業が大変!

MIG11システムでさまざまな問題を解決した!

タンクのエア抜き、バルブへの異物混入を防ぐ
《新技術》

初期エア開放装置

- 第1ステップ: 配管内エアを大気放出、タンク内油へのエア混入防止。
- 第2ステップ: 戻り油は、タンク内第1層目へ。オーバーフローさせることで、混入エアを上方へ。
- 第3ステップ: 第2層目へ移動する際、平面的に流す。流速を低く抑えることで、混入エアを上方へ。

機器バイパス弁

バルブへの異物の混入を防止。

多目的ポートにより油漏れ懸念箇所を特定できる

- ☆ゴムホースの交換時
運転状態のままホース交換ができます。
- ☆配管破損箇所の検出と配管修理時
修理している間ホース等でバイパス回路を作ります。
☆システムの完全機能停止を防止できます。
- ☆ホース交換後、エア抜き・耐圧テストができます。
作動油 エア抜き → 耐圧テスト → ストップ弁(開) → 完了

従来の方法では、エアが抜けにくい!!

ホース交換後エアは下流へ

★新熱圧縮で戻った空気が14MPa時、温度が上昇するため、作動油の劣化につながり作動油交換期間が短くなります。

埋設部等、点検困難部の破損箇所が見発見できる

漏れ箇所を運転状態のまま修理できる

ホースは経年劣化で交換を必要とし、この際、エア抜きや耐圧試験に便利

高所でのエア抜き作業不要で安全

緊急時、別油圧源でシリンダの作動ができる

現場での施工工期・工程を大幅に削減し、CO₂低減・安全性向上

◆CO₂が90.2%減少!

項目	従来方式	MIV611弁使用
重量 (Kg)	244.5	24
鉄	178.5	24
ガソリン	66	-

CO₂換算
物流(車): 20Km 5往復7km/2 2.3Kg-CO₂/2
20x7 x5x2x2.3=66Kg
鉄: 1.5Kg-CO₂/Kg
従来方式 119Kg×1.5=178.5
新方式 16Kg×1.5=24

※政令第6条第1項第2号及び別表第7、算定省令第3条

2系統化によるフォールトトレランスシステムで水の中や危険な場所に行かずに、ユニット内で異物循環除去ができる!!